

専 門 教 養
令和 5 年 7 月
60分

受 験 教 科 等
中・高等学校共通 国 語

注 意

- 1 指示があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 2 全て係員の指示に従って、静粛に受験してください。
- 3 机上には、受験票、筆記用具、時計以外のものを出してはいけません。
- 4 他の受験者の迷惑になるような行為、スマートフォン、スマートウォッチ等の電子機器の使用及び不正行為をしてはいけません。
- 5 解答時間は60分です。途中退出はできません。
- 6 問題冊子のページ数は、17ページです。はじめにページ数を確認してください。
- 7 解答用紙に、**必要事項が正しく記入・マークされていない場合には、解答は全て無効**となります。解答用紙の【1】の欄には、**受験番号**を記入し、**受験番号に対応する数字をマーク**してください。【2】の欄には、**氏名**を記入してください。ただし、【3】の選択問題を表す欄のマークは**不要**です。
- 8 問題冊子の余白等は、適宜使用しても構いませんが、どのページも切り離してはいけません。
- 9 問題文中の「学習指導要領」は、特に指示がある場合を除いて、平成29年、平成30年又は平成31年告示の「学習指導要領」を表しています。
- 10 問題の内容についての質問には一切応じません。

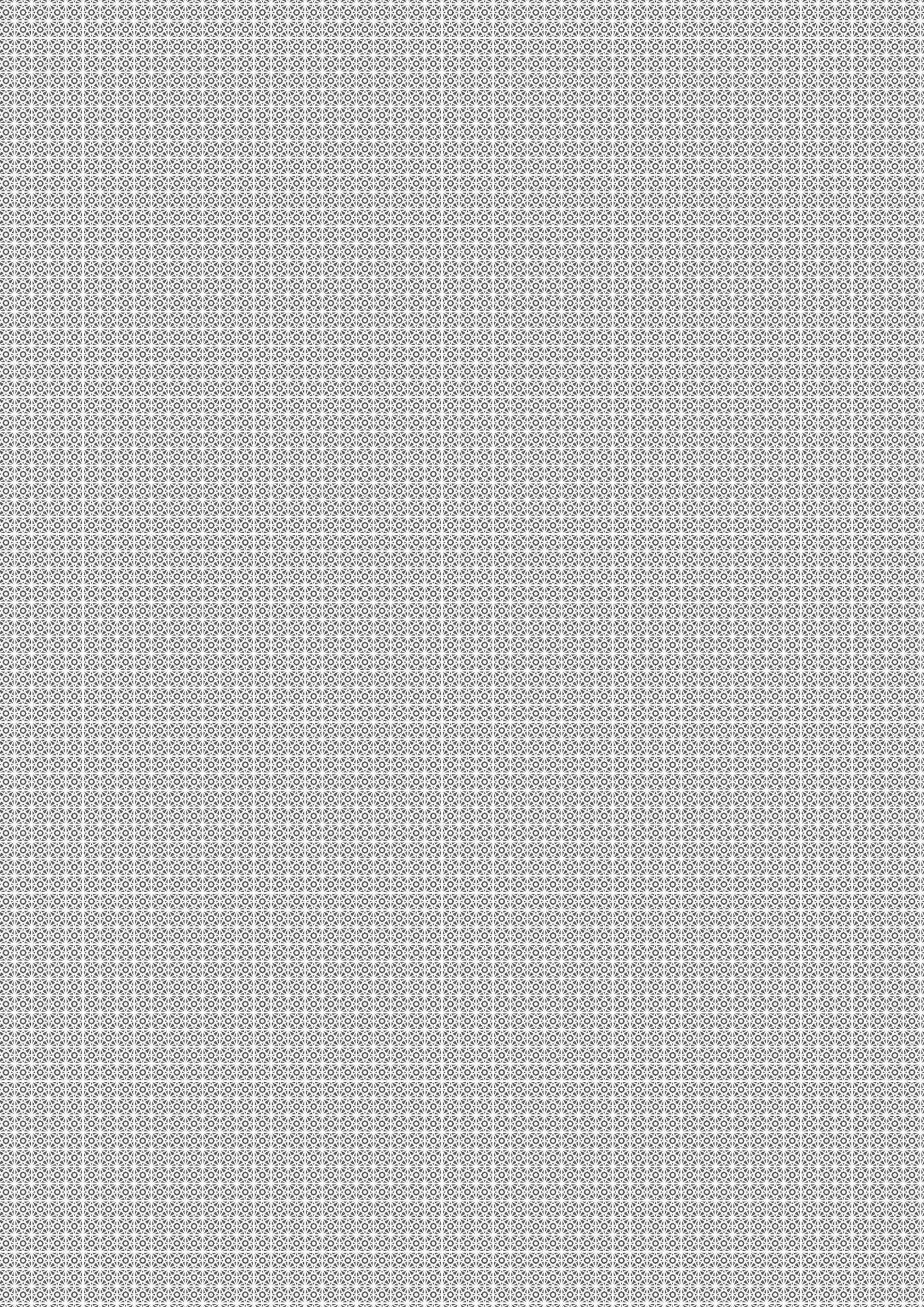
解答上の注意

- 1 解答は、問題文や解答用紙の注意事項に従って、解答欄にマークしてください。各問に対して、正答は一つだけです。**各解答欄に二つ以上マークした場合は誤り**とします。
- 2 「解答番号は 1。」と表示のある問に対して、**3**と解答する場合には、次の（例1）のように解答番号 1 の解答欄の③にマークしてください。

（例1）

解答 番号	解答欄
1	① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

解答上の注意の続きを、問題冊子の裏表紙に記載してあります。問題冊子を裏返して必ず読んでください。



一

次の文章を読んで、後の各問に答えよ。

(福田和也『本を読む、乱世を生きる』から作成)

〔問 1〕 傍線部(ア)・(イ)のカタカナを漢字に直したとき、その漢

字と組み合わせる二文字熟語になるものは、次の各群の
1～4のうちのどれか。解答番号は(ア)が

2。

1、(イ)が

(ア) キュウヘイ

1 用

2 遮

3 鎖

4 害

(イ) キョウジュ

1 順

2 読

3 楽

4 小

〔問 2〕 傍線部(1)「

とはどういうことかを説明したものとして最も適切なもの
のは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は

3。

1 本を読んだ一人一人が、自ら思い浮かべ想像すること

で、自らの世界を創り出すことができるということ。

2 本を読んだ一人一人が、本という限定された範囲の中
で思うように動き回ることができるということ。

3 本を読んだ一人一人が、作られたイメージを共有する
ことで、他者と同じ世界を生きられるということ。

4 本を読んだ一人一人が、与えられた情報を自分の好み
に合わせて創ることができないということ。

〔問 3〕 傍線部(2) ー

「とあるが、その理由として最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は

4。

- 1 本は内容が変わらないので、以前読んだ本の感想は現在でも変わらないはずだから、全く異なる本を読んだ方が良いという考えに至るから。
- 2 音楽やゲームによって、自分と他者の意見の差異を知ったり、印象を比較したりすることで理解を深めることができるから。
- 3 本を読むことで受け取った情報を生かすことは、主体的に動いた経験で得られたことよりも、人生の幅と重さが限定的になるから。
- 4 人によってさまざまな顔を見せると同時に、同じ人間にとっても異なる顔を提示するというような違いがもたらす自由を、音楽やゲームでは楽しむことができないから。

〔問 4〕 傍線部(3) ー

「とはどういうことかを説明したものとして最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は

5。

- 1 時間は絶対的なもので人によって異なることはないので、自分の人生においてはまるでゲームのように、時間を管理する必要があるということを書物は教えるということ。
- 2 時計の針がゼンマイで動いたり、地球がただ惑星間の重力の関係で回っているように、書物には、時間というものが存在しているということ。
- 3 人間の精神の動きに存在している時間は、人によって千差万別であり、読書によって表情豊かな時間を作り出せる人が、自ら人生を豊かにすることができるということ。
- 4 時間は過去の記憶と未来の予測の間に存在するが、書物が同じであれば、読む人で印象が変わらず、読んだ内容が必ずしも未来に役立つことにならないことを教えるということ。

二

次の文章を読んで、後の各問に答えよ。

(有島武郎『碁石を呑んだ八っちゃん』から作成)

〔問 1〕 傍線部(1)「

」とあるが、その理由について説明したものとして最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は 6。

1 八っちゃんが基石を呑んだことで僕と婆やが大騒ぎをしていたのにも関わらず、お茶の間にいる母には全く聞こえていないことを、まるで別の世界にでも来てしまったのではないかと疑念を抱いたから。

2 八っちゃんが基石を呑んだことを婆やに咎められ、焦って母を呼びに行ったが、八っちゃんが大変なことになっていると知っていても落ち着き払っている母の様子を不審に思ったから。

3 八っちゃんが基石を呑み一刻を争う状況になったため、一生懸命に走って母を呼びに行ったが、お茶の間が何事もなかったかのように思えるほど、いつもと変わらない様子だったから。

4 八っちゃんが基石を呑んだ騒ぎに反して、とても静寂に包まれた茶の間を見ると、僕と婆やが勘違いをしていただけで、本当は八っちゃんは基石を呑んでいないことが分かったから。

〔問 2〕 傍線部(2)「

」とあるが、このときの「僕」の気持ちを説明したものとして最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は 7。

1 母から水を持ってくるように頼まれたのは自分なのに、婆やに先を越されたことが、口惜しいという気持ち。

2 婆やには素早く丁寧に水を運べないだろうと思っていたが、意外にも婆やが機敏だったので、うらやましいという気持ち。

3 母の期待に応えるのは自分でありたいのに、婆やに力づくで茶碗を取られたことを、恥ずかしいという気持ち。

4 弟を助けるのは自分の役割だと、兄としての自覚をもって責任を果たそうとして、清々しいという気持ち。

「問3」 傍線部(3)「

」と

あるが、このときの「お母さん」の様子として最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は 8。

1 一難去って安心したが、基石を吞ませた婆やから八っちゃんを遠ざけなければと思い、医者呼びに行かせている。

2 それまで夢中になって八っちゃんを介抱していたが、ほっとした思いから涙がこみ上げてきたと同時に我に返り、冷静さを取り戻している。

3 依然として、八っちゃんが顔を真紅にして苦しんでいるのを見て、八っちゃんを助けるために最善を尽くそうとしている。

4 八っちゃんは、自分たちが何もしなくても回復すると思っ様子を見ていたが、一向によくならないので緊急性を感じて慌てている。

「問4」 傍線部(4)「

」とあるが、このときの「僕

の様子を説明したものとして最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は 9。

1 僕が出しっぱなしにした基石が原因で八っちゃんが基石を吞んでしまったことを母に叱られたが、何事もなかったかのように、ごまかそうとしている。

2 八っちゃんへの心配がなくなったことや、母が優しく僕に声をかけたり起こそうとしたりしたことによる安心感や温もりに満ちている。

3 朝から一番すきなお菓子をくれると母に言われたことで、思いがけない幸運に嬉々としている。

4 いつまでも泣き止まない僕をあやすのに、母が強引に僕の両脇を操ってきたので、笑いを堪えられないでいる。

三

次の文章を読んで、後の各問に答えよ。

（『讃岐典侍日記』「新編日本古典文学全集」から作成）

〔問 1〕 傍線部(1)「

」につ

いて説明したものとして最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は **10**。

- 1 帝を助けることのできなかった僧正に、絶望感を吐露している。
- 2 臨終まで手を尽くそうとしない大弔の三位に、責任を問うている。
- 3 祈りもむなしく帝が崩御し、人の世の無常を嘆いている。
- 4 崩御してしまった帝に対し、自分も連れて行ってくれと嘆願している。

〔問 2〕 傍線部(2)「

」につい

て解釈したものとして最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は **11**。

- 1 臆することがない人は、障子ががたと鳴っている音すら気にしていないだろう。
- 2 おびえるような人は、女房たちの凄まじい泣き声を聞いていることもできないに違いない。
- 3 気後れすることがない人は、帝の臨終の様子など聞こうとしないであろう。
- 4 怖じ気づくような人は、地震の揺れにおびえて他の人の話を聞くことができない。

〔問 3〕 傍線部(3)「

」とあるが、

「」の文法的な説明として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は **12**。

- 1 名詞と助動詞と動詞の組合せである。
- 2 名詞と動詞の組合せである。
- 3 名詞と助動詞の組合せである。
- 4 動詞と助動詞の組合せである。

〔問 4〕 傍線部(4)「

」とあるが、この理由を説

明したものとして最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は **13**。

- 1 帝崩御の報に接し平常心を失い、唐衣をかなぐり捨てるように脱ぎさったから。
- 2 帝に最後の拝顔を願ったが、崩御の報に接するのが遅れたため、望みを果たせなかったから。
- 3 帝の汗をお拭い申し上げたいと願っていたが、それもかなわず、ただ側に座っているだけだったから。
- 4 長年、帝をお慕い申し上げていると思っていたが、声を立てて泣くこともできなかったから。

〔問 5〕 この「讃岐典侍日記」が書かれた時代として最も適切

なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は

14

。

1 奈良時代

2 平安時代

3 室町時代

4 江戸時代

四

次の文章を読んで、後の各問に答えよ。（設問の都合で返り点・送り仮名を省いたところがある。）

〔『戦国策』「新釈漢文大系」から作成〕

〔問 1〕 傍線部(1) 「 」とあるが、「 」の解釈として

適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は

15。

- 1 うつくしい
- 2 すくない
- 3 あたらしい
- 4 いさぎよい

〔問 2〕 傍線部(2) 「 」の説明として最も適切

なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は

16。

- 1 最初からおごらずいからずうまくやれたので、最後は思った以上の成果が出ること。
- 2 最初は努力してもうまくいかなかったのに、最後には望む結果になるということ。
- 3 最初はおごらずいからずうまくやれたのに、最後を慎むことを怠ったためうまくやれなかったということ。
- 4 最初から努力してもうまくいかなかったので、最後まで良くはならないということ。

〔問 3〕 空欄 (3) に入る漢文を、「しかうしててんかのし

をしてあへていはざらしむ。」と読み「しかしながら、天下の士の口を完全にふさいでおられます。」と解釈するとき、これを漢文に直して返り点を付したものとして最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は

17。

- 4
- 3
- 2
- 1

〔問 4〕 傍線部(4)〕

「とあるが、「 1 」について説明したものとして最も適切なものは、次の 1 ～ 4 のうちではどれか。解答番号は 18 。

1 王が、ここで見事な終止符を打てなかったら、三王や五覇は、諸侯である君主たちや黄河や済水の流域地方の諸士から、呉王夫差や智伯瑤と同じ程度の存在と見なされるであろうこと。

2 王が、三王や五覇に並ぶほどの人物ではなかったら、後々患いが生じ、王は、諸侯である君主たちや黄河や済水の流域地方の諸士を、呉王夫差や智伯瑤と同じ憂き目に遭ったと勘違いをするであろうこと。

3 王が、ここで見事な終止符を打つようなことがあれば、後の憂いは無いため、諸侯である君主たちや黄河や済水の流域地方の諸士が油断して、呉王夫差や智伯瑤と同じ失態を犯して王の地位を揺るがすであろうこと。

4 王が、ここで見事な終止符を打てなかったら、後々患いが生じ、諸侯である君主たちや黄河や済水の流域地方の諸士から、王が呉王夫差や智伯瑤と同じ憂き目に遭ったと思われるであろうこと。

五

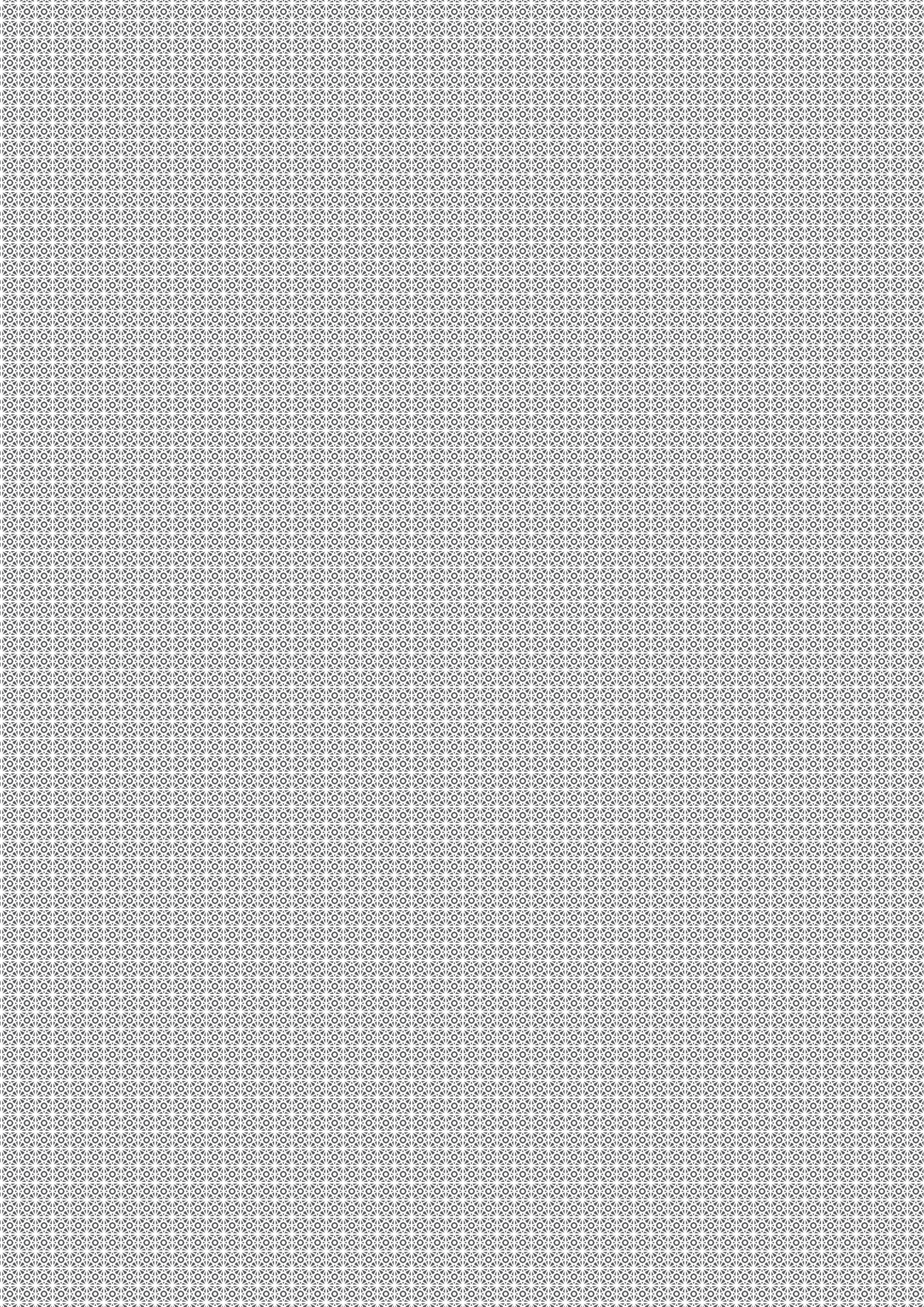
学習指導要領に関する次の各問に答えよ。

〔問 1〕 中学校学習指導要領国語の「各学年の目標及び内容」の「第3学年」の「目標」に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 19。

- 1 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合うとする態度を養う。
- 2 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- 3 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにするることができるようにする。
- 4 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合うとする態度を養う。

〔問 2〕 高等学校学習指導要領国語の「各科目」の「国語表現」の「目標」に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 20。

- 1 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- 2 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- 3 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- 4 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。



3 問題文中の $\boxed{2}$ 、 $\boxed{34}$ などの $\boxed{\quad}$ には、数字又は符号（－）が入ります。次の(1)～(4)の方法でマークしてください。

(1) $\boxed{2}$ 、 $\boxed{3}$ 、 $\boxed{4}$ 、……の一つ一つは、それぞれ1～9、0の数字又は符号（－）のいずれか一つに対応します。それらを $\boxed{2}$ 、 $\boxed{3}$ 、 $\boxed{4}$ 、……で示された解答欄にマークしてください。

例えば、 $\boxed{234}$ に -84 と解答する場合には、次の（例2）のようにマークします。

(例2)

解答 番号	解答欄
$\boxed{2}$	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ●
$\boxed{3}$	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ● ⑨ ⑩ ⊖
$\boxed{4}$	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

なお、同一の問題文中に $\boxed{2}$ 、 $\boxed{34}$ などが2度以上現れる場合、原則として、2度目以降は、 $\boxed{2}$ 、 $\boxed{34}$ のように細字で表記します。

(2) 分数形で解答する場合は、符号は分子に付け、分母に付けてはいけません。また、分数は既約分数で答えてください。

例えば、 $\frac{\boxed{56}}{\boxed{7}}$ に $-\frac{4}{5}$ と解答する場合には、 $-\frac{4}{5}$ として、次の（例3）のように

マークします。

(例3)

解答 番号	解答欄
$\boxed{5}$	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ●
$\boxed{6}$	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖
$\boxed{7}$	① ② ③ ④ ● ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

(3) 小数の形で解答する場合は、特に指示されていなければ、指定された桁数の一つ下の桁を四捨五入して答えてください。また、必要に応じて、指定された桁まで⑩にマークしてください。

例えば、 $\boxed{8.910}$ に 2.6 と解答する場合には、 2.60 として答えてください。

(4) 根号を含む形で解答する場合は、根号の中に現れる自然数が最小となる形で答えてください。